

摂南大学の開発供給実施計画の概要

サトウキビ栽培における局地的な気象データ等から最適な灌水を自動で行うシステム

2025年5月認定

<取組概要>

サトウキビ栽培における、灌水の作業時間削減と限られた水資源の効果的な活用に資する、局地的な温湿度、風速、日射量等の微気象データや栽培環境条件等に基づいた遠隔・自動灌水技術の開発及び供給

<申請者名（代表者）>

摂南大学

<計画の実施期間>

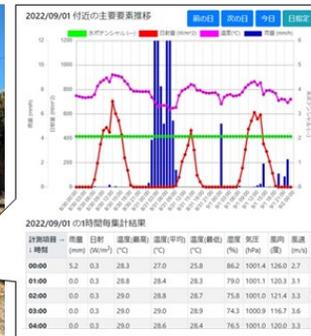
5年間

<本技術による生産性向上の効果>

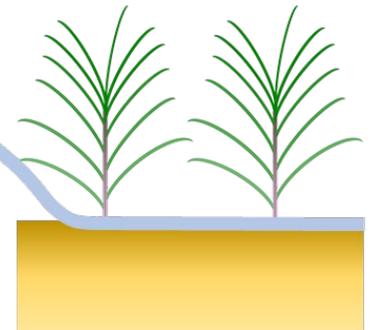
- 「農作業共通」のうち「衛星やドローン等を用いた農産物の生育、土壌及び病害虫等のセンシング結果等に連動した農作業の省力化又は高度化に係る技術」により労働時間20%削減に資する技術

〔サトウキビの灌水作業の労働時間の削減〕

<開発技術のイメージ>



局地的なリアルタイムの気象情報や成育状況から適切な灌水量・タイミングを判断し、アプリを使って灌水管理



「微気象観測ポスト+遠隔操作装置+灌水アプリ」から成るスマート灌水システムによって遠隔・自動灌水を実装